

オホーツク圏 経済情勢報告

令和6年2月



目 次

概況	2
1. 個人消費	3
2. 観光	4
3. 雇用	5
4. 公共事業	6
5. 住宅着工	6
6. 企業倒産	6
7. 金融	7

○利用上の注意

- 1 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「R」～改訂値 「▲」～マイナス 「P」～速報値

オホーツク圏経済情勢報告（令和6年1月判断）概況

	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、3期連続】	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある。 観光は、緩やかに持ち直している。 また、雇用は、緩やかに持ち直しつつある。

	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡
観 光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡
雇 用	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡

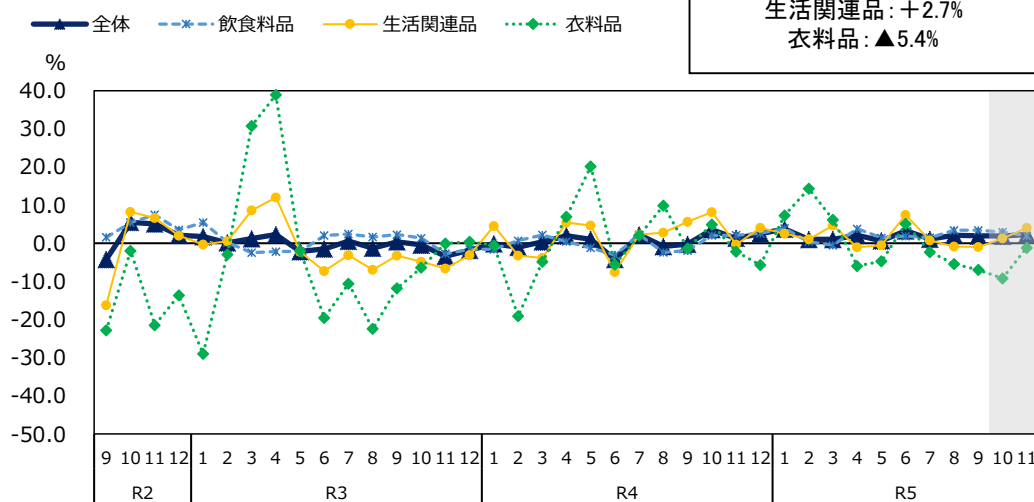
公共事業	前年を下回る	前年を下回る	➡
住宅着工	前年を下回る	前年を下回る	➡

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。		
-----	--	--	--

（注）6年1月判断は、前回10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費 ～物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある～

主要小売店販売額(前年比)の推移



【10月-11月(前年同期比)】
 全体: +2.1%
 飲食料品: +2.5%
 生活関連品: +2.7%
 衣料品: ▲5.4%

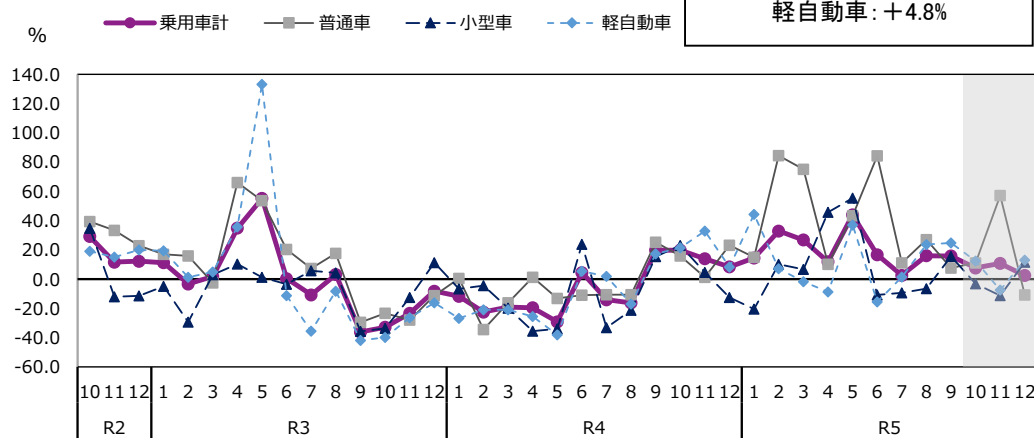
(注)主要小売店販売額は、令和5年1月判断より集計対象小売店が変更となったことから令和4年1月以降の数字全体を再計算している。
 資料:管内主要小売店

- 飲食料品は、総菜・冷凍食品が引き続き堅調に推移しているほか、商品単価の上昇もあり前年を上回っている。
- 生活関連品は、外出機会の増加により引き続き化粧品・スキンケア用品が好調であったほか、特売実施により特に日用品の動きが良かったことから、前年を上回っている。
- 衣料品は、気温の低下が遅く冬服の動きが鈍かったことにより、前年を下回っている。
- 引き続き、物価上昇を背景とした家計の節約志向の高まりがみられる。
- 新車登録台数は、一部の車種が前年を下回っているものの、半導体不足緩和による納期の改善がみられ、持ち直しつつある。
- このように、個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

【企業・関係団体からの生の声】

- 総菜・冷凍食品は引き続き堅調に推移している。外食機会が増加したことによる需要の減退は見られていない。(大型小売店)
- 例年は10月に入ると冬物が動き出すが、今年は気温の低下が遅かったことにより冬服の動きが鈍かった。(大型小売店)
- 外出機会の増加によりスキンケア用品・化粧品も引き続き伸びている。また、若者を中心にアジアコスメが人気となっている。(大型小売店)
- 寝具などの日用品はブラックフライデー期間に売上が伸びた。また、PB商品は満遍なくどの品目でも販売額が増加している。(大型小売店)
- 引き続き物価高を背景とした節約志向の高まりで、商品によって購入する店を使い分けていると感じる。(大型小売店)
- 半導体不足による納期遅れは改善しており、多くの車種で納期が短縮している。(乗用車販売店)
- 資材価格や物価の高騰で先行きが不透明であることから、消費者マインドが低迷しており、足下では受注が伸びないとの声が聞かれている。(自動車関連団体)
- 5類移行後、大規模な宴会が開催されるようになったことや客単価の上昇により、販売額がコロナ禍前の2019年を上回っている。(飲食サービス業)

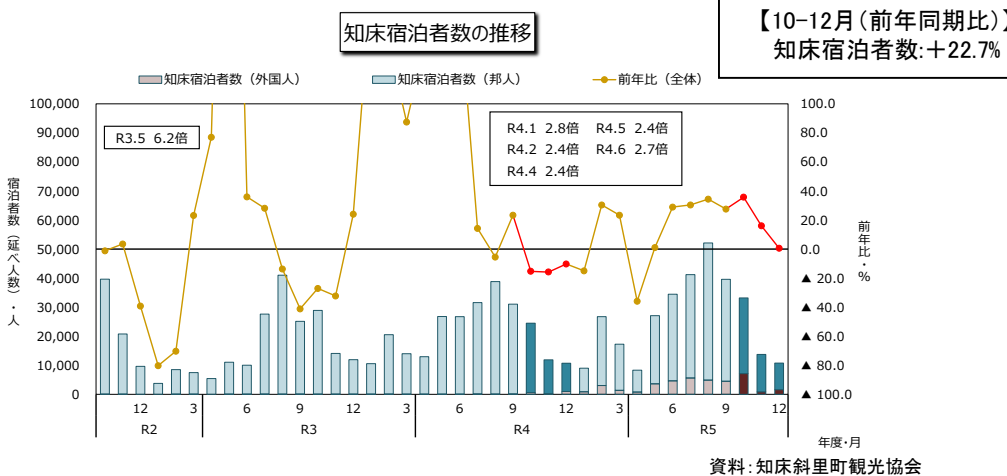
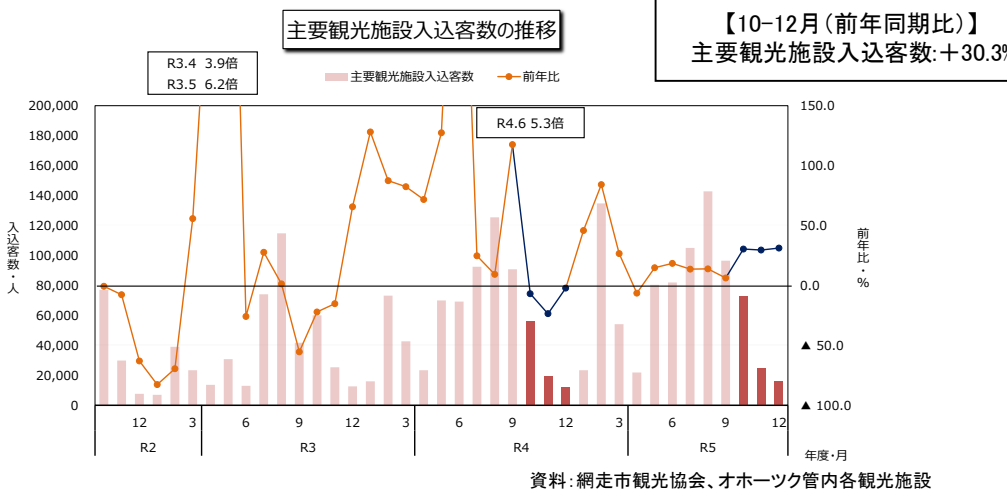
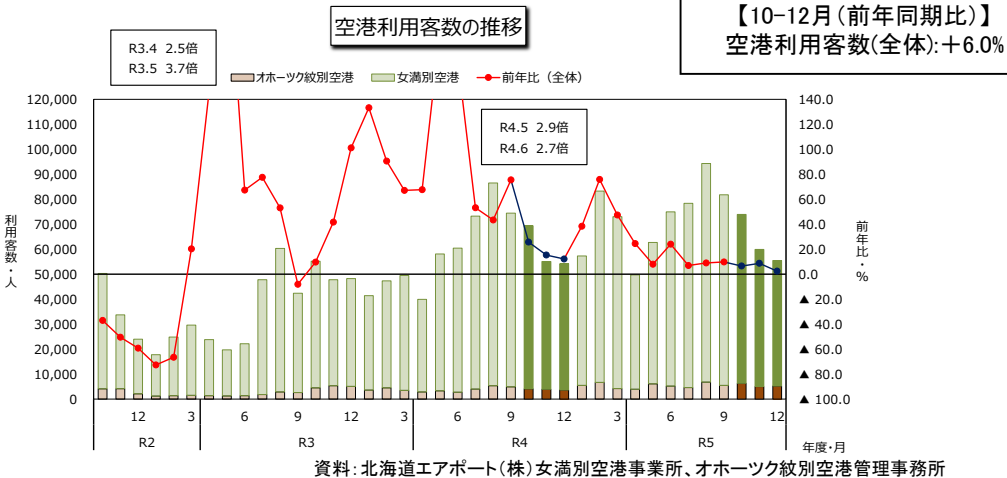
乗用車新車登録台数(前年比)の推移



【10月-12月(前年同期比)】
 乗用車計: +7.1%
 普通車: +16.4%
 小型車: ▲2.3%
 軽自動車: +4.8%

資料: (社)日本自動車販売協会連合会北見支部

2. 観光 ～緩やかに持ち直している～



- 空港利用客数は、引き続き各路線に持ち直しの動きがみられており、前年を上回っている。
- 主要観光施設入込客数及び知床宿泊者数は、行動制限緩和の効果などにより観光客の動きが良かったほか、引き続き外国人観光客の入込も好調だったことなどにより、前年を上回っている。
- このように、観光は、緩やかに持ち直している。

【企業・関係団体からの生の声】

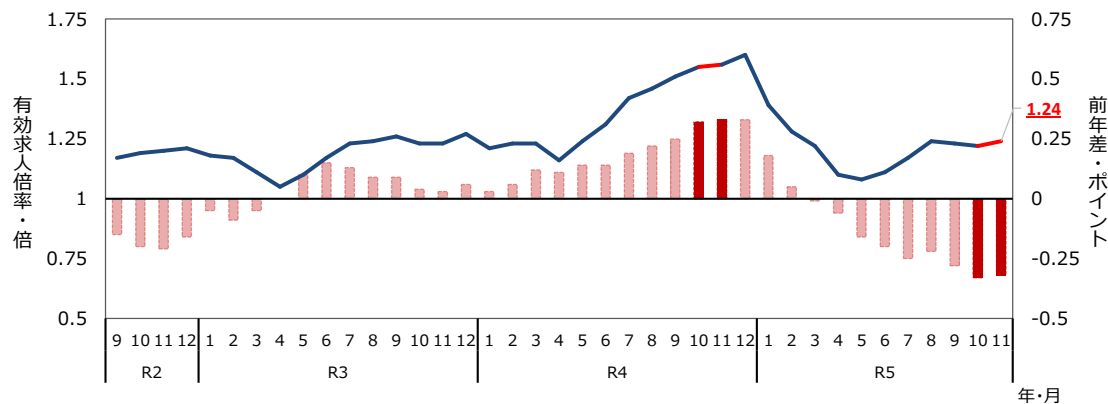
- 10～12月にかけてインバウンドが好調であり、シンガポールの団体ツアーが戻ってきているほか、韓国、香港、台湾からの個人客の入込が順調であったことから、前年を上回った。(知床地区 観光施設)
- 10月は道外客の入込が増加したことから、宿泊者数、客室稼働率ともに前年比で増加した。観光船沈没事故から国内団体客は激減している一方で、個人客は増加している。(知床地区 宿泊施設)
- 10月は国内個人客のほか、シンガポールからの団体ツアーなどインバウンドの動きが活発であったが、11月は気温が低くなったことから一服感があった。(紋別地区 観光施設)
- 海外ツアー等による入込の増加により前年と比べると来場者は増加傾向にあるが、コロナ禍前までは回復していない。(紋別地区 観光施設)
- 台湾、香港、シンガポールを中心に入込が順調であったことから、外国人観光客数は前年及びコロナ禍前を上回った。国内客は全国旅行支援の効果により週末の入込は順調で前年を上回ったが、コロナ禍前の水準までは戻っていない。(観光協会)
- インバウンドの増加で前年より増加する見込みだが、コロナ禍前の7割程度までしか回復していない。10月中旬から12月中旬にかけて全国旅行支援の対象期間となったが、入込客数を見ると十分な効果を得られなかった。(観光協会)
- 前年比でインバウンドの予約も多く受け付けており、国内外を通じて流氷アクティビティの魅力が伝わっていると実感している。(知床地区 観光施設)
- 前年と比べるとインバウンドを中心に来場者は増加傾向にあり、流氷シーズンの予約状況はコロナ禍前の水準に近いところまで到達するかもしれない。(紋別地区 観光施設)

3. 雇用 ～緩やかに持ち直しつつある～

有効求人倍率（常用）の推移

■ 前年差 ● 月間有効求人倍率

【10月-11月】
月間有効求人倍率: 1.23倍
前年同期差: ▲0.33ポイント



資料: 北見、網走、紋別公共職業安定所

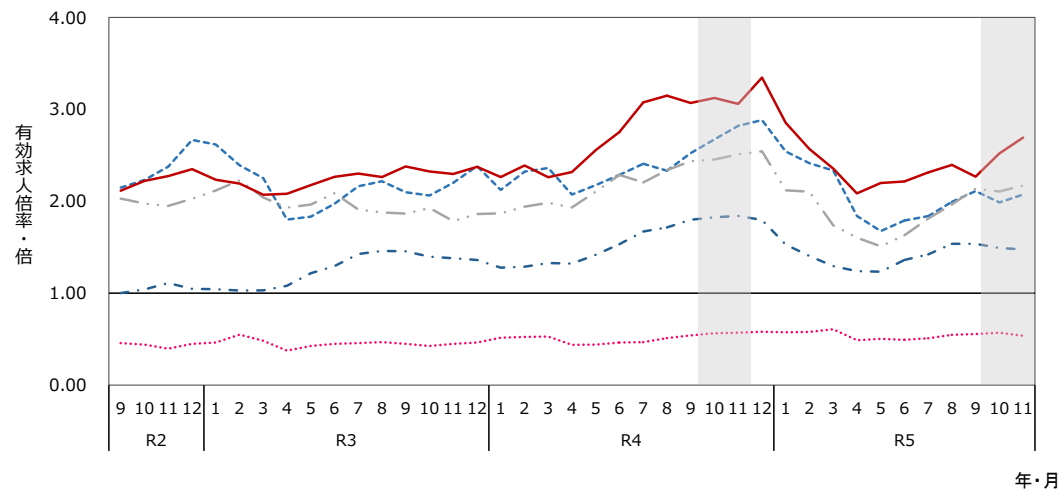
○ 有効求人倍率は、有効求人数が減少していることなどから、前年を下回っているものの、緩やかに持ち直しつつある。

【企業・関係団体からの生の声】

- 物価・エネルギー価格高騰による企業の経費削減の動きにより、パートタイムの新規求人数は引き続き減少している。一部企業からは、人手不足ではあるが新しい従業員を雇うより今いる従業員の賃金を上げたいと考えているとの声が聞かれる。(公共職業安定所)
- 依然として人手不足である。現在は派遣会社を通じて道外からも人材を呼び込めるよう取り組んでいる。(食料品製造業)
- 慢性的な人員不足であり、国内外を問わずあらゆる手段で回数を増やして募集している。また、繁忙期と閑散期の宿泊者数のギャップが大きいことから、期間を限定して雇用できる派遣労働者や外国人労働者を活用して、繁忙期の受け入れ態勢を整備していく。(宿泊業)

職種別有効求人倍率の推移 (求職者上位5業種)

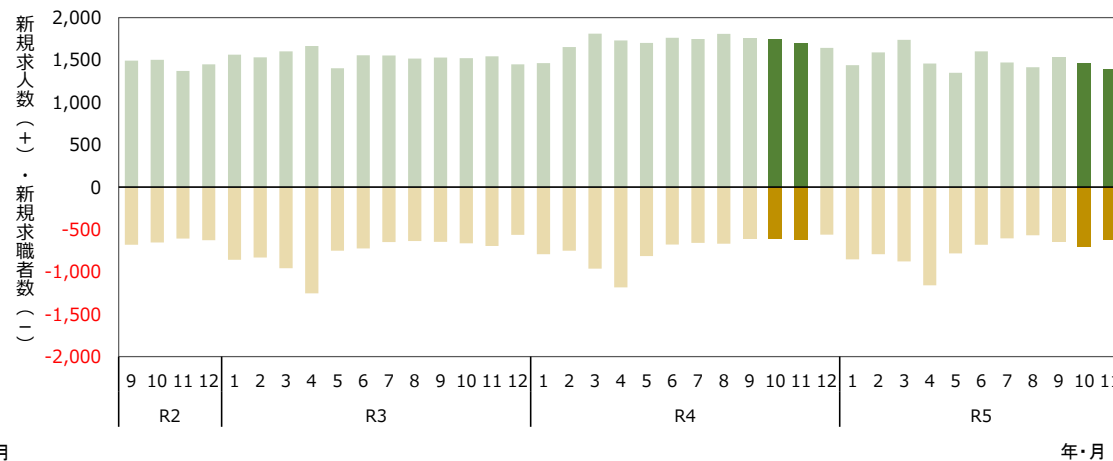
--- 専門的・技術的 事務的 - - - 販売 ——— サービス - - - 生産工程・労務



資料: 北見、網走、紋別公共職業安定所

新規求人数・求職者数の推移

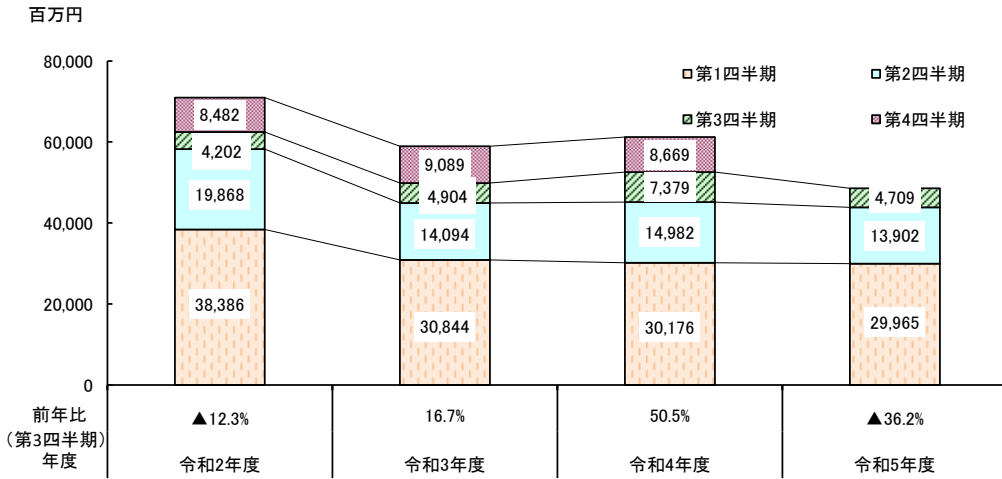
■ 新規求職者数 ■ 新規求人数



資料: 北見、網走、紋別公共職業安定所

4. 公共事業 ～前年を下回る～

公共工事前払金保証請負金額の推移



資料: 北海道建設業信用保証(株)

○ 公共事業を前払金保証請負金額で見ると、令和5年10月から12月においては、前年を下回っている。

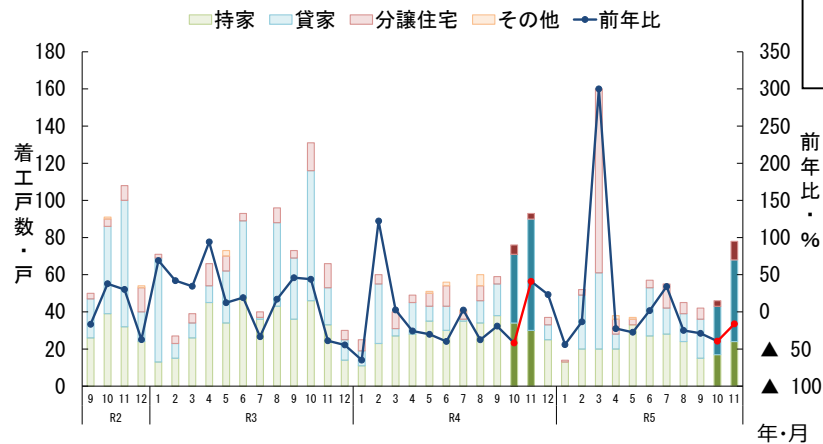
【企業・関係団体からの生の声】

- 通年の事業を多く受注しており、年度内の計画は達成している。(建設業)
- 採用活動は技術員や作業員の高齢化が課題となっているなか、順調に進んでいない。(建設業)

5. 住宅着工 ～前年を下回る～

○ 管内3市(北見市・網走市・紋別市)の新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を上回っているものの、持家、貸家は前年を下回っている。

新設住宅着工戸数の推移



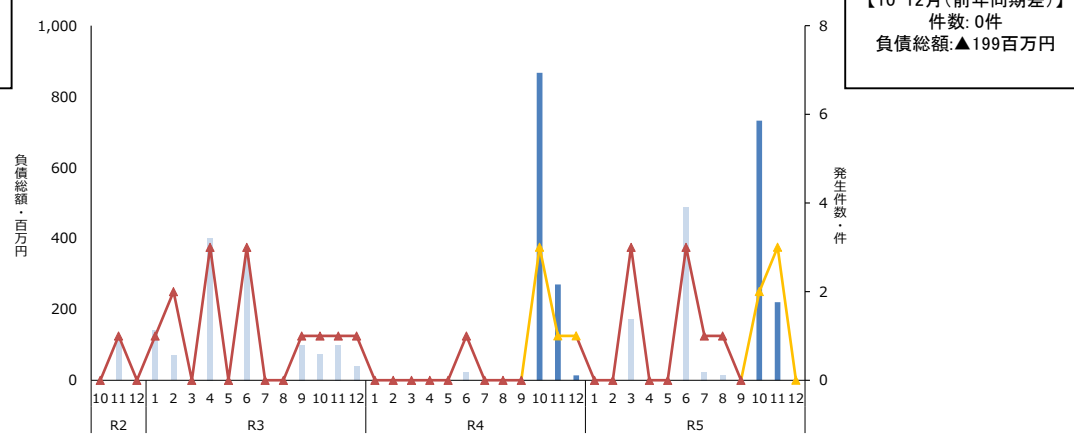
【10-11月(前年同期比)】
 新設住宅着工戸数計: ▲26.6%
 うち持家: ▲35.9%
 うち貸家: ▲27.8%
 うち分譲住宅: +62.5%

資料: 国土交通省「住宅着工統計」

6. 企業倒産 ～前年を上回る～

○ 企業倒産は、件数は前年並み、負債総額は前年を下回っている。

企業倒産の推移



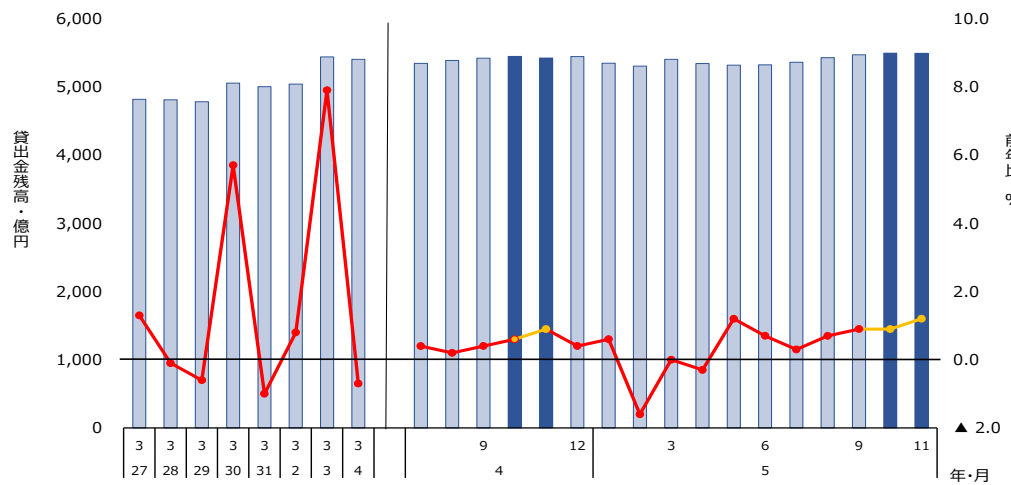
【10-12月(前年同期差)】
 件数: 0件
 負債総額: ▲199百万円

資料: (株)東京商工リサーチ北見支店

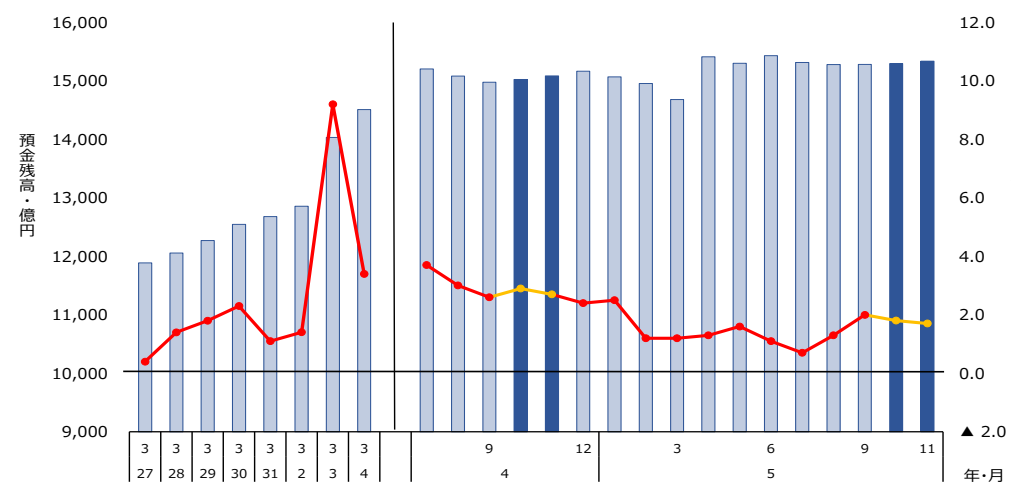
7. 金融 ～貸出金、預金ともに前年を上回る～

○ 貸出金残高は、設備資金が増加したことなどから、前年を上回っている。
 ○ 預金残高は、前年を上回っている。

貸出金の推移

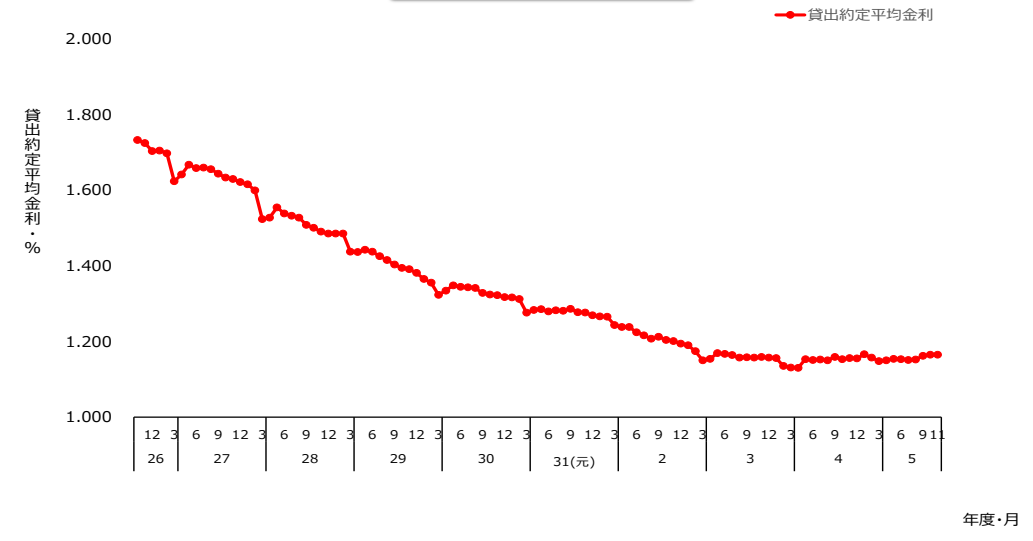


預金の推移



【10月-11月(前年同期比)】
 貸出金残高: +1.1%
 (うち設備資金: +2.7%)
 (うち運転資金: +0.9%)
 (うち地方公共団体: ▲1.8%)
 預金残高: +1.7%

貸出約定平均金利の推移



貸出金・預金の推移（銀行・信用金庫）

年 月	貸出金残高				預金残高				貸出約定平均金利			
	前年比	設備資金	運転資金	地方公共団体	前年比	前年差	前年比	前年差				
27. 3	4,817	1.3	1,960	4.2	1,752	▲ 5.8	1,105	9.1	11,887	0.4	1.623	▲ 0.089
28. 3	4,810	▲ 0.1	1,991	1.6	1,642	▲ 6.3	1,177	6.5	12,056	1.4	1.523	▲ 0.100
29. 3	4,781	▲ 0.6	2,037	2.3	1,572	▲ 4.3	1,172	▲ 0.5	12,269	1.8	1.437	▲ 0.087
30. 3	5,053	5.7	2,083	2.2	1,688	7.4	1,282	9.4	12,546	2.3	1.323	▲ 0.114
31. 3	5,001	▲ 1.0	2,105	1.1	1,626	▲ 3.7	1,270	▲ 0.9	12,678	1.1	1.276	▲ 0.046
2. 3	5,040	0.8	2,166	2.9	1,610	▲ 1.0	1,264	▲ 0.5	12,856	1.4	1.243	▲ 0.034
3. 3	5,439	7.9	2,224	2.7	1,875	16.5	1,340	6.0	14,034	9.2	1.150	▲ 0.093
4. 3	5,402	▲ 0.7	2,264	1.8	1,842	▲ 1.8	1,297	▲ 3.2	14,509	3.4	1.131	▲ 0.018
5. 3	5,403	0.0	2,353	3.9	1,852	0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1.148	0.017
4. 10	5,444	0.6	2,319	3.2	1,983	▲ 0.7	1,142	▲ 2.2	15,025	2.9	1.153	▲ 0.004
11. 11	5,422	0.9	2,323	3.4	1,959	▲ 0.5	1,140	▲ 1.7	15,084	2.7	1.156	▲ 0.003
12. 12	5,443	0.4	2,341	3.2	1,961	▲ 1.4	1,140	▲ 1.8	15,164	2.4	1.155	▲ 0.002
5. 1	5,346	0.6	2,339	3.6	1,874	▲ 1.9	1,134	▲ 1.3	15,067	2.5	1.166	▲ 0.010
2. 2	5,302	▲ 1.6	2,343	3.8	1,823	▲ 3.1	1,136	▲ 9.3	14,956	1.2	1.157	0.022
3. 3	5,403	0.0	2,353	3.9	1,852	0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1.148	0.017
4. 4	5,341	▲ 0.3	2,361	4.0	1,794	▲ 0.7	1,186	▲ 7.4	15,411	1.3	1.150	0.019
5. 5	5,318	1.2	2,356	4.2	1,793	0.7	1,170	▲ 3.6	15,302	1.6	1.154	0.001
6. 6	5,322	0.7	2,358	3.5	1,795	▲ 0.1	1,170	▲ 3.6	15,432	1.1	1.153	0.003
7. 7	5,359	0.3	2,351	2.6	1,839	0.0	1,170	▲ 3.6	15,315	0.7	1.151	▲ 0.002
8. 8	5,425	0.7	2,356	2.6	1,890	0.7	1,180	▲ 2.7	15,279	1.3	1.152	0.002
9. 9	5,469	0.9	2,369	2.7	1,960	▲ 0.7	1,141	0.0	15,282	2.0	1.162	0.004
10. 10	5,493	0.9	2,378	2.5	1,995	0.6	1,120	▲ 1.9	15,294	1.8	1.165	0.012
11. 11	5,489	1.2	2,388	2.8	1,981	1.1	1,120	▲ 1.7	15,336	1.7	1.165	0.009

※ゆうちょ銀行を除く

資料：北海道財務局北見出張所

【問い合わせ先】

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

財務省 北海道財務局 北見出張所 財務課

〒090-0018 北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎
TEL 0157 (24) 4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス <https://ifb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>

北海道財務局北見出張所

検 索





オホーツクール
cool!